

# 春夏秋冬



武蔵野会ニュース No. 168 平成30年1月15日  
発行 社会福祉法人 武蔵野会  
本部 東京都八王子市台町1-19-3 TEL042(623)8509  
<http://www.musashinokai.jp/>

## 新年のごあいさつ



みんな集まれ  
(小平福祉園)

### トリーク

## 食の感謝と命への畏敬 (新年に思う)

新年にあたり、無事に正月を迎えた喜び、自然の恵みをいただきながら旧年中を生きてきたことへの感謝、新たな年の豊作と無事を祈るといふ思いを抱く人は少なくなってきたのではないのでしょうか。年を重ねて生きること、言い換えれば命の大切さを感じる機会が減ってきたのではないかと思います。

人は多くの命をいただきながら生きています。弱肉強食と言えばそれまでですが、人が生命を全うするまでに、多くの豚や牛など動物や数え切れないほどの魚、想像もつかないくらい穀類、野菜などを食べて命を繋いでいます。しかし、加工品が大量生産され、動植物を育てる過程を見る機会も少なくなり、旬という季節感や素材そのものが分かりにくくなったことで、子どもも大人も多くの命を糧に生きている恩恵を感じにくくなったのかもしれない。それ故なのか、昨今、食べ物が粗末に扱われ、捨てられている飽食の報道をよく耳にします。

一方、毎日の3食を満足に摂れなかったり、孤食を余儀なくされたりする等、子どもや高齢者の貧困が大きな社会問題になっています。格差社会を助長する政治の歪みも大きな原因だと思えますが、命をいただくことで命を繋いでいることへ意識の低下が飽食を招き、社会的な支援が最も必要な、子どもや高齢者の食への思いにつながりにくくなっている様な気がします。食べ物に感謝することが命を大切にするにつながるのではと感じています。

年頭に当たり、食の大切さ、命への畏敬について心に刻みたいと思います。

社会福祉法人武蔵野会 理事長 高橋 信夫

# 謹賀新年

ご支援に感謝し、  
倍旧のご協力を

法人役員紹介（順不同）

理事長 高橋 信夫



あけまして  
おめでとうご  
ざいます。

昨年は福祉  
法改正の本格実施により、法人は  
組織に大きな動きがありました。  
評議員会が意志決定機関となり任  
期が4年、理事会が執行機関とな  
り任期が2年となり、メンバーも  
変わりました。評議員は11名のう  
ち、4人が新しくなり、理事は10  
名のうち、次長と施設長併せて4  
人が新たに執行理事となりました。  
また、評議員選任解任委員会  
が監事含む5人、運営協議会が8  
人が新たに選任されました。  
今年も理事長として2年目に入  
ります。昨年度の経験を踏まえて、  
新たな気持ちで、武蔵野会の運営に  
あたって参りますので、よろしく  
お願いいたします。

後援会長・評議員 石谷 暢司



武蔵野会は  
2017年4  
月、法改正の  
もと新理事長

をはじめ清心と活力みなぎる陣  
容で船出しました。新春を迎え  
ますますのご発展を心より祈念  
いたします。後援会は会員と協  
力者の皆様の日頃のご支援とご  
協力により昨年12月、武蔵野会  
に平成29年度第一回目の寄付を  
致しました。これもひとえに皆  
様のご協力の賜物と深く感謝申  
し上げます。本年も何卒よろし  
くお願い申し上げます。

【理事】



青木 秀雄  
(明星大学教授)



金森 仁  
(弁護士)



今坂 康志  
(医師)



上野 純宏  
(前理事長)



我妻 弘  
(練馬福祉園施設長)



中山 政夫  
(本部次長)



峯尾 常雄  
(八王子市心身障害者  
福祉センター所長)



山内 哲也  
(リアン文京総合施設長)



山田 貴美  
(本部長)



春日 完和  
(元家庭裁判所  
本主席調査官)



谷口 健吉  
(税理士)

【評議員】



青木 昌子  
(元理事長)



廣本 肇  
(つるかわ学園理事長)



井上 明子  
(弁護士)



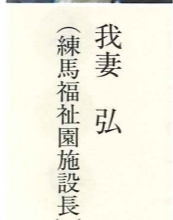
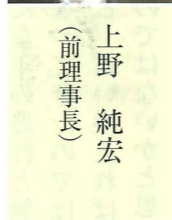
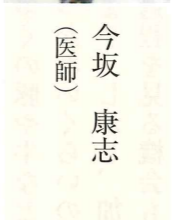
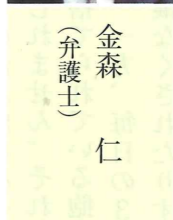
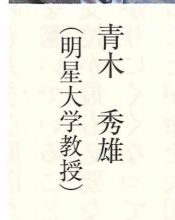
久保健一郎  
(慶応義塾大学  
医学部専任講師)



小林 隆猛  
(東京都民生委員児童  
委員連合会常任共議員)



中村 文子  
(NPO法人東京都  
自閉症協会理事)



西野 榮男  
(元八王子市社会福祉  
協議会常務理事)



原田 正樹  
(日本福祉大学教授)



福山 雅史  
(東京都石神井学園  
施設長)



渡辺 瞭  
(元エーザイ株式会社  
顧問)



横山 宏  
(東京都社会福祉  
協議会副会長)



## むさしの 武蔵野

寄り添う

ということ

「ワールド・カフェ方式」という意見交換を体験されたことはありませんか？テーマは決められていますが、まるでカフェで雑談をしているような雰囲気、相手の話に耳を傾け、自分の意見を伝え、自由な発想で会話をします。

先日、この研修に参加しました。実に様々な意見が交わされましたが、年代を超えて、支援で大事にしていることや仕事への思いは共通していること『実感』することができました。

私たちの仕事は人に対して援助することを主としています。多くのことは一対一では成り立たず、チームワークを必要とします。けれども、時に「決められた仕事を終わらせなければならぬ」「統一した支援ができるようにならない」「統一した支援ができない」といった思いを抱え、イライラしたり、孤独を感じてしまったりすることもあります。

平成24年10月1日、障害者虐待防止法が施行されました。従事者には障害者虐待の防止に取り組む責任と、発見時は通報の義務があるとされています。法

の整備がなされたことで、より一層、虐待防止に努め、援助方法が見直されてきたことと思えますが、虐待の報道を耳にする、「なぜだろう？当事者の職員に過度なプレッシャーや孤独感はないか？」と考えてしまいます。体力・知識・支援技術的なゆとりがないと焦りにつながります。焦りや不安の積み重ね…そんなとき、一人ではないということが感じられれば、違う支援が見えてくるのではないのでしょうか。

「聞く」だけではなく「聴く」ということ、聴いてもらえた「体験」、わかってもらえたという「安心」は利用者にも職員にも大切なことです。今の感情を否定されることなく理解してもらえ「実感」が支援の場に広がれば、相手を大事にしていけるのではないのでしょうか。会話ができない方とでも、場を共有し寄り添うことで、安心が伝わっていくのです。

悲しい事件を起こさない職場風土を、冒頭に書いた『実感』できる職場でありたいと思います。

希望の里

施設長 野田久美子



八王子市心身障害者福祉センター  
施設長 峯尾常雄



世田谷区世田谷福祉作業所  
施設長 伊藤久美子



西水元あやめ園  
施設長 富山孝行



第2大島恵の園  
施設長 岡部智彦



八王子生活実習所  
施設長 安田喜人



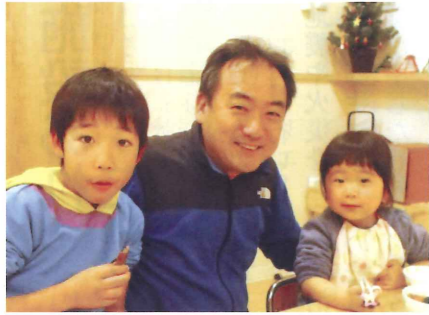
練馬福祉園  
施設長 我妻弘



リアン文京  
施設長 山内哲也



八王子福祉作業所  
施設長 松岡利明



武蔵野児童学園  
施設長 金子陽介



大島恵の園  
施設長 大島安彦

明けましておめでとーございませす  
本年もよろしくお願いたしませす  
社会福祉法人武蔵野会職員一同



練馬区立光が丘福祉園  
施設長 横尾泰朗



練馬区立大泉町福祉園  
施設長 宮原康輔



きね川福祉作業所  
施設長 大和田卓



世田谷区立九品仏生活実習所  
施設長 山内ゆきみ



さくら学園  
施設長 川野文幸



練馬区立光が丘障害者地域生活  
支援センター「すてっぷ」  
所長 石野拓朗



千代田区立障害者福祉センター「えみふる」  
施設長 須永 正



練馬区立北町福祉作業所  
施設長 村山俊彦



東堀切くすのき園  
施設長 金澤正義



世田谷区立駒沢生活実習所  
施設長 木村文孝



すぎな愛育園  
施設長 福元 興



法人本部職員



世田谷区立烏山福祉作業所  
施設長 野々村武志



希望の里  
施設長 野田久美子



小平福祉園  
施設長 多々良康子



白鳥福祉館  
施設長 吉倉美佐子

# ニュース ラウンジ

## 防犯カメラの設置

さくら学園

東京都の防犯対策事業の補助金を受け、防犯カメラの設置が完了しました。相模原市での障害者施設殺傷事件を受けて、さくら学園でも防犯対策を進める必要があります。障害者施設や介護施設では日常生活に介助が必要な人たちが多く生活しています。特に夜間の勤務職員は少なく、最低限の職員配置をしている施設もほとんどだと思います。今回、東京都の補助を受け建物の中に31個の防犯カメラを取り付けました。



棟内のカメラ

## 新任職員 フォローアップ研修

武蔵野会では職員の採用半年後に、グループ毎集め新任職員のフォローアップ研修を実施しています。それぞれの成長を確かめるだけでなく、同期同士の関係を深めることにもなります。その様子を少しだけ紹介します。

## 葛飾地区

10月24日、白鳥福祉館にて、葛飾地区新任フォローアップ研修が行われました。12名の新任職員は、研修前に白鳥福祉館の施設見学をし、元気に利用者とは挨拶をしていました。今年3月に大島で研修をし、「私たちが目指す職員像」についてグループで話した時には、「利用者や家族、周りの職員に頼ってもらえる」「元氣な」「利用者の気持ちを理解する」「専門的知識」等が上がっていました。その後約半年の間、実際に現場に立ち、利用者に関わっていく中で、手応えを感じたり「笑顔」に出会っ

いままでは、福祉施設に監視カメラを設置することは、いくら防犯上有効なものであったとしても、道義的に褒められたものではないという考えが主流でした。そこに暮らす利用者を、カメラで管理するイメージがあったからだと思います。

障害者施設で入居者の命を脅かすものは稀でしたが、今回の事件で「利用者の安全・命を守る」必要性が表面化しました。カメラを設置したことにより外部の方の出入りや入所者に対する職員の接し方など記録に残ります。プライバシーのこともありますが、問題が生じた際に責任の所在を明確にすることが出来ます。まずは防犯という観点から入所者も働く職員も安心して過ごすことができる設備が整いました。

## 交流見学会

八王子生活実習所

八王子市の自立支援協議会では今年度から日中支援事業所連絡会を立ち上げました。市内110の生活介護・就労継続・地域活動支援センターなどが参加する大きな連絡会となりました。

その連絡会で、それぞれの施設



成果の発表

たりと自分自身の達成感や存在感につながる事に、仕事の楽しさや喜びを感じていくようです。また、ご家族対応や職場内の人間関係の難しさ、自分が考えている事との差異が生じている現実等、日々直面する問題、課題に悩んでいる様子もうかがえました。最後に各施設長から自分の体験談等を踏まえた貴重なアドバイスをあり、各職員は熱心に聞いていました。研修後の懇親会では思い思いの話に花が咲き、楽しい交流のひとつとなりました。今後益々の活躍を期待します。

## 世田谷地区

研修内容は「半年経って感じたこと」の振り返りと「めざす職員像」の再確認です。自由にディスカッションをし、最後にプレゼンテーションをしました。

日々の支援等を振り返った時、「利用者の希望や要望をうまく具



八王子生活実習所の説明

を知るための交流見学会を実施しました。八王子生活実習所は幹事として参加していることもあり、10月11日と27日の2回、見学会の受け入れを行いました。八王子福祉作業所と八王子生活実習所の見学をしていただいた後に、交流会となりました。

2回で合計19人の方が参加となりました。八王子の日中活動支援事業所は作業所として始まり、それぞれ歴史のある事業所が多いのですが、交流の機会が少なく、お互いに見学し合うことは刺激になったようです。意見交換では、それぞれの悩みを話し合う場となり、活発な交流ができました。終了後のアンケートには、情報共有できる機会を増やしたいという意見が目立ちました。

現化できない」「支援計画を練り、提供はしたが本当に良かったのかだろうか」といった意見が多く挙がりました。その結果、机上のシナリオに並んだのは「できていること」よりも、日々起きている「現実」や「改善」、そして「いつか叶えたい理想」の言葉でした。

しかし、メンバー内で確認したのは、結果に悲観するのではなく、謙虚に現状を受け入れることが、理想実現への一歩だという点です。研修最後に、講師を務めた世田谷地区の各施設長からコメントがありました。その中で「考え続けることが大切」という一言が特に印象に残っています。「経験の少なさは否めない事実です。ただ、純粋に利用者のことを考え続けることで、いつか「理想」は最善の形となって叶うと信じ、日々の支援に取り組むことを期待します。



熱心な意見交換の場面も

## 施設あれやこれや

大泉町福祉園

大泉北泉町会との合同防災訓練を11月14日に行いました。突然起こる地震や火災を想定し、消火訓練や救急蘇生法を町会の皆さんと共に学びました。利用者の皆さんは、消防自動車や白バイに興味津々でした。

光が丘福祉園

空調設備改修工事を行いました。30年使用してきた天井裏に張り巡らされていた配管を、全ての天井を落とし取り替えました。半年間かけ10月末に完了し、快適な生活が出来るようになりました。

第2大島恵の園

当園では近隣の私立保育園で実習を重ねる女性利用者がいます。スタートは平成28年1月の面談から。「保育士になりたい」という夢の実現にむけて今日もお仕事に出かけます。子供たちの笑顔が励みです。

すてつづ

10月29日に設立10周年の記念イベントを開催しました。ハンドベルなどの音楽プログラムや、演劇ワークショップの発表で、障害当事者を主体に「ともにつくる」活動を、地域に発信しました。

八王子市心身障害者福祉センター

11月5日、27回目となる手話まつりが開催されました。聴覚障害に対する市民の方の理解や手話の普及を目的にしています。主催は当事者団体と手話サークルの皆様。ろう女優の方の講演や手話劇など、大勢の方で賑わいました。

すぎな愛育園

子どもたちが大好きな散歩。ポランテアの保護者の方と手を繋ぎ、20分くらいかけて歩きます。坂の上からはいつもと違う風景。公園の背の高いジャングルジムにも挑戦します。たくさん歩いた後の給食は、いつもよりおいしく感じます。

くすのき園

利用者の皆さんと支援員とのコミュニケーションを大切にしながらの表現活動「アートの取り組み」に力を入れています。今月は第3回くすのきアート展を他の武蔵野会施設との合同企画で開催します。

えみふる

日中活動系の福祉サービスから降所した後、16時ころから、えみふるではレクリエーションを基本とした活動の提供を始めました。参加されている皆さんはダンスやゲームに汗を流すなど一日の疲れを感じさせない姿を見せてくれます。

# お知らせコーナー

## 1月

- 4日(木) 団体帰省 (復路)  
(大島恵の園 第2大島恵の園)
- 5日(金) 新年会・もちつき(東堀切くすのき園)
- 6日(土) 成人式 (八王子生活実習所)
- 12日(金) 成人式 (白鳥福祉館)
- 新成人を祝う会 (東堀切くすのき園)
- 13~16日(土~火) 第3回くすのきART展  
(東堀切くすのき園)
- ※白鳥福祉館、八王子生活実習所、大島恵の園、第2大島恵の園との合同企画
- 17~21日(水~日) 第32回障害者文化祭  
(八王子市心身障害者福祉センター)
- ※会場：八王子学園都市センター11階  
ギャラリーホール
- 24日(水) 第276回理事会

## 2月

- 10日(土) 第三者委員会定例会  
(大島恵の園 第2大島恵の園)
- 17日(土) 葛飾地区支援実践報告会 (葛飾地区)
- 17・25日(土・日) 会食レク  
(大島恵の園 第2大島恵の園)
- 23日(金) 事例報告会 (八王子地区)
- 24日(土) 福祉避難所訓練 (東堀切くすのき園)
- 27日(火) 音楽会 (八王子生活実習所)

## 3月

- 14日(水) 第277回理事会
- 20・21日(火・水) 平成30年度新人職員研修

平成29年の12月に、日本財団様から移動販売車を寄贈していただきました。

リアン文京の一階で営業していただきます「カフェ&ベーカリー」では、店頭販売以外にも販路拡大を検討していました。日本財団に応募したところ、幸運にも寄贈が決まり、この度、納車となりました。



かわいらしく目立つ車体

## 移動販売車の寄贈 リアン文京



た。内部にはフライヤーや電磁調理器などが揃い、様々な調理が可能になりました。今後は、地域のお祭りや施設の行事など、積極的に出かけ、利用者の工賃向上に繋がりたいと考えています。都内で出張販売の機会がある場合には、気軽に声をかけてください。

## 希望の里

### 戌の置物

☎042・654・7311

2018年の干支は「戌」です。犬は人との付き合いも古く、親しみ深い動物。戌の干支の特徴は「勤勉で努力家」とあります。希望の里では「戌」の木工作品を販売中です。是非、お手に取って木の温もりを感じてみてください。一つひとつ手作りのため、サイズに若干の誤差があり、木目も違います。



大：800円 (15.0cm)  
中：500円 (11.5cm)  
小：300円 (6.5cm)

## ショーケース

### 自主生産品紹介

### 新商品

## 世田谷区立 世田谷福祉作業所

### 手漉きの名刺

☎03・3414・0141

紙漉きブランド「はんどふる」では、手漉き紙を使用した名刺のご注文を承っています。手漉きならではの風合いを活かし、お相手の印象に残る個性的な名刺に仕上がります。素敵なファースト・コンタクトのお供に、はんどふるの手漉き名刺をぜひお手元にどうぞ。



1セット 100枚  
片面印刷2,500円  
両面印刷3,500円

## 武蔵野会後援会

社会福祉法人武蔵野会が経営する25施設と6つのグループホームの利用者のために、より良い環境や施設の充実・施設の円滑な運営などを、物心両面から支える組織として、武蔵野会後援会があります。皆様のご理解とご協力により、会の拡大をはかり、法人の運営基盤の確立を応援していますので、ご協力をお願い申し上げます。

〒193-0931

東京都八王子市台町1-19-3

電話・FAX 042-626-9772